

2018年度 ダビデ組（4歳児）デイリープログラム

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
7:30	順次登園 各自持ち物の始末 自由遊び	<ul style="list-style-type: none"> ○保育室の換気・安全・清潔を点検し受け入れの準備をする。 ○子どもが好きなことをして遊べる環境を整える。 ○にこやかにあいさつを交わし、子どもの健康状態や機嫌をよく見て、朝のしたくを見守る。 ○異常を見つけたときは適切に対処する（特に体調不良・目の充血・外傷 など）。 ○子どもが保護者と気持ちよくお別れできるようにいっしょに「いってらっしゃい」のあいさつを交わす。 ○異年齢児がいっしょに過ごす時間なので、互いにかかわりが持てるように過ごす。 ○子どもが落ち着いて遊べる玩具や数人が集まって楽しめる遊びが提供できるように、環境づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢の遊びを予測する。 ●保護者に直接ようすを尋ねる。 ●保護者から担任への伝達などを聞き取る。 ●子どもの発達段階を考慮して遊びをそろえる。
9:00	片づけ 手洗い 排泄 水分補給	<ul style="list-style-type: none"> ○順次登園してくる子どもの受け入れや保護者対応が必要な時間なので、保育者の位置に留意し、安全には十分に配慮する ○しだいに自発的に行なえるよう毎日繰り返す。 ○排泄に行くよう声掛けをする。 ○水分補給のお茶がいつでも飲めるように用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育者間の連携が重要。 ●保育者もいっしょにかたづけながら、楽しい方法を工夫する。
9:30	体操 職員礼拝 (静かに保育室で遊んで待つ)	<ul style="list-style-type: none"> ○体操の準備をし、子どもと一緒に体を動かす。 ○先生たちが礼拝行う間、静かに遊んでおくように伝える。 	
9:40 10:00	子ども礼拝 朝の会 設定保育	<ul style="list-style-type: none"> ○静かに子ども礼拝できるように見守る。 ○朝の会を行い、出席をとる。 ○今日行うことを、その日その日で説明する。 	
11:20	手洗い 排せつ 昼食の準備	<ul style="list-style-type: none"> ○手洗いや足洗い、排せつがきちんとできるか見守り、できていないところは援助し、自分のできるよう気づかせていく。 ○お当番が準備を始めやすいように援助する。 ○子どもができることは安全を図りながらもなるべく自主的にさせるようにする。 ○配ぜんの手伝いがしやすいように盛り付けや食具を準備しておく。 ○準備ができるまで、手遊びやなぞなぞや言葉遊びをして過ごし、落ち着いて楽しく食事ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な物の準備は事前に保護者に伝える。そのつどていねいに手順や方法を教え、事後確認を行なう。 ●テーブルを出す。 ●配膳台を出す。 ●消毒液につけた台ふきを用意。 ●アレルギー食への配慮。
12:00	食事	<ul style="list-style-type: none"> ○いっしょに食事をして、友達と会話しながらも食事に集中できるように適度に介入し、マナーの大切さを知らせていく。 	
12:45	歯みがき	<ul style="list-style-type: none"> ○歯みがき指導を導入してしっかり自分でできるように見守る。また、必要なときはしあげをしてあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歯ブラシが広がっていないか、しあげの方法を保護者に教え、連携していく。
13:30	着替え 自由遊び (排せつ) 午睡 (休息)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが食後落ち着いて遊べるような環境を整える。 ○食後に排便をもよおした子どもの便性を確認し、保育者がふく。 ○室内遊びや戸外遊びを一緒に関わり見守る。 ○子どもといっしょに布団を敷く。 ○落ち着いて眠れるように、読み聞かせやストーリーテリングなどで雰囲気をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●絵合わせトランプ・パズル・ブロック・自由画・折り紙・モザイク遊び など。 ●記録書き、教材作り クラスミーティング。

2018年度 ダビデ組（4歳児）デイリープログラム

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
15:00	目覚める 布団を畳む 排せつ 手洗い おやつ 歯みがき 皆で掃除をする 身支度をする 帰りの会	○室温・換気・寝具の調整に配慮する。 ○しぜんな目覚めを誘うため、採光を加減する。 ○優しい声で心地良く目覚めさせる。 ○子どもがしやすいように援助する。 ○眠れない、早く起きたという場合は休息させるように静かに過ごせるように援助する。 ○目覚めたらおやつのための準備をする。 ○食事時間と同じように配慮する。 ○歯みがきを見守り保育者もいっしょに行なう。 ○保育室の清掃をする。 ○汚れ物やタオルなどを自分のカバンに入れるよう促す。	●布団を押入れに入れるまでの部分で自主性を発揮できるようにする。 ●アレルギー食への配慮。 ●自発的な気持ちを尊重する。 ●手遊びなどをして待つ。 ●健康状態をよく見る。
15:40	順次降園	○翌日の計画や、何をして遊びたいかなど伝え、明日も期待感や意欲を持って登園できるように子どもたちと話し合う。 ○配布物は、子どもがみずから保護者に内容を伝えられるようにする。 ○カバンに確実に入れたかを見届ける。 ○子どものロッカーなど点検して、忘れ物などないか確認する。	●保護者への連絡事項など再確認し、場合によって引継ぎ事項とする(配布物がある・お迎えの人がいつもと違う・時間が変更している・保育中にけがをしたなどについて など)。
16:00	自由遊び	○夕方の戸外遊びは職員数、異年齢児混合などの状況を考慮して、保育の形態を常に柔軟にとらえ、クラスの枠を超えての連携で保育展開するように心がける。 ○けがをしやすい時間帯でもあるので、安全には十分に注意して過ごす。 ○保護者への伝達をし、忘れ物がないの見届けて「さようなら」のあいさつを交わし和やかに降園する。	●担任がいるとは限らないので必要なことにおいてはクラスの枠をはずしてかかわれるようにする。 ●「おかえりなさい」のあいさつとともに、直接伝達事項がない場合にも二言三言の会話を交わしコミュニケーションを図る。